

市政懇談会が開催されました

3月14日、区民と市政をつなぐパイプ役としてご活躍されている山科区市政協力委員連絡協議会の各学区会長と門川京都市長との懇談会が開かれました。

懇談会では、澤田清一代表が、「自分たちの町は自分たちで守り、住み良い町にしていくことをモットーに取組を行っている。」と挨拶されました。

また、門川市長からは、日ごろの取組や活動に対する感謝と、市政の発展に向けたより一層の協力の呼びかけがあり、その後、市長と参加者との活発な意見交換が行われました。



問合せ 区まちづくり推進担当
(☎592-3088)

京都市市民憲章推進者区長表彰

3月5日、京都市市民憲章推進者区長表彰式が行われました。

平成29年度の推進テーマ「文化の力で日本を元気に～暮らしの中にある日本文化を見つめ直そう」と5つの実践目標に基づき、活動を推進してこられた区民の皆様17名と1団体に、区長から表彰状が贈られました。



個人の部

岡田 宏美 さん(勧修学区)	富士原 新藏 さん(勧修学区)
山本 義幸 さん(勧修学区)	喜田 潤子 さん(鏡山学区)
南 善江 さん(鏡山学区)	大江 鹿雄 さん(音羽学区)
佐藤 明男 さん(音羽学区)	田副 立士 さん(音羽学区)
梅田 文雄 さん(大宅学区)	藤本 恒治 さん(大宅学区)
村田 修一 さん(大宅学区)	川邊 達雄 さん(山階南学区)
谷口 勝 さん(山階南学区)	村井 穆次 さん(山階南学区)
麻野 純一 さん(百々学区)	加藤 誠司 さん(西野学区)
寺岡 洋子 さん(西野学区)	

団体の部

勧修学区ボランティアセンターマスカット(勧修学区)

問合せ 区まちづくり推進担当(☎592-3088)

区民ボウリング大会 百々体育振興会チームが4年ぶりの優勝！ グランドチャンピオン杯 山階南体育振興会チームが2年連続で優勝！

2月25日、今年度最後の山科区体育振興会連合会事業として、「第36回山科区民ボウリング大会」が開催され、百々体育振興会チームが4年ぶりとなる優勝を果たしました。

また、1年間に行われた区民大会や市大会などの総合成績順に学区を表彰する「グランドチャンピオン杯」の表彰式も同日行われ、市大会でも好成績をおさめた山階南体育振興会チームが2年連続で優勝の栄冠を勝ち取りました。

<ボウリング大会>

団体の部

優勝	百々体育振興会チーム
準優勝	音羽体育振興会チーム
三位	勧修体育振興会チーム

個人の部

男子優勝	
百々学区	開原 勉さん(702点)
女子優勝	
音羽学区	盛岡 銘子さん(656点)

<グランドチャンピオン杯>

優勝	山階南体育振興会チーム
二位	百々体育振興会チーム
三位	鏡山体育振興会チーム



ボウリング大会優勝の
百々体育振興会チームの皆様

問合せ 区まちづくり推進担当(☎592-3088)

「山科区民花の回廊募金」で ヤマザクラを植樹しました！



山科区を様々な花で自然豊かな潤いのある「まち」にしていくことを目的に実施する「山科区民花の回廊募金」。花と緑に彩られた美しいまちづくりにご賛同いただいた方々からの募金により、東山自然緑地(山科疏水公園)にヤマザクラを植樹しました。

3月8日には、募金者の皆様をお招きし、植樹式を開催しました。感謝状の贈呈のあと、ヤマザクラが、これから元気に根付き、春に美しい花が咲くようお願いを込めて、全員で土かけを行いました。



問合せ 区まちづくり推進担当(☎592-3088)



参加者のひとり、普段からグラウンドゴルフクラブに入ってプレーをしている加藤さんは「子どもと一緒にプレーする機会はなかなかないので、とてもよかった。子どもは覚えるのが早いね。ぜひこの後も続けてく

ました。

参加者のひとり、普段からグラウンドゴルフクラブに入ってプレーをしている加藤さんは「子どもと一緒にプレーする機会はなかなかないので、とてもよかった。子どもは覚えるのが早いね。ぜひこの後も続けてく

小野学区では「あなたが主役！... only one」を合言葉として、世代を超えたつながりを作ってコミュニティの活性を目指す取組を進めています。その一つの取組として自治連合会、少年補導委員会、体育振興会、グラウンドゴルフクラブが協力して「第1回 寒中グラウンドゴルフ交流会」を2月18日に小野小学校で開催しました。

集まったのは大人と子ども合わせて100人ほど。8つのグループに分かれ、小学校の校庭に作られたコースを回ります。子どもたちのほとんどは、プレーするのは初めて。クラブの握り方や足の置き方など、文字通り手取り足取り教えてもらいながらプレー開始です。最初は恐る恐るクラブを握っていた子どもたちもすぐに慣れて、元気に球を打ち始め、中にはホールインワンを出す子も。各グループ和気あいあいとプレーを楽しんでいました。

多世代交流のもう一つは沖繩の太鼓を持って踊るエイサーです。3月15日、老人クラブと小野小学校の初めての合同練習会が開催されました。太鼓の叩き方や足の運びを練習したり、お互いの演目を見せ合ったりと汗を流しました。今後は定期的に練習会を開く予定だそうです。

大人も子どもも楽しめるグラウンドゴルフは交流にぴったりの競技ですが、そのためには道具が欠かせません。小野自治連合会会長の青木さんは「グラウンドゴルフでの多世代交流のアイデアはあったが、大人用のクラブしかなかったので、子どもの参加には無理がありました。今回山科区きずな支援事業で子ども用のクラブを揃えることができ、実現しました。」と言います。これから交流会だけでなく、普段から大人と子どもが一緒に練習するサークルにしていきたいそうです。

というスポーツと文化の両面で世代を超えた交流が始まっている小野学区。活動が広がり、地域のつながりが強くなることを期待します。(京都市まちづくりアドバイザー 佐藤友一)

問合せ 区総務・防災担当

(☎592-3066)

第55回

連載

区民活動きずなリレー

大人も子どもも世代を超えてサークル活動に

小野学区

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう！